

港まちづくり協議会ニュース

第29号 (2009年1月16日発行)

新年明けまして おめでとうございます。
本年もどうぞよろしく願いたします。



霧笛の響きの中で迎える、この地域独特の迎春の風情は、私たちがこの地に住んでいるのだとの実感を持たせるのに十分だと思います。

昨年、前任者から引き継いだものの、スタートが遅れ、それを挽回するために会としてはフルスピードで対処してまいりましたが、何とか形だけは作れたものの、まだまだ満足のゆくものではないと思います。多くの人に参加していただき、勉強しながらまちの現在を、未来を考えていただきながら進めてまいりましたが、住民の声がもっと反映されるべきだとの声もあり、意見を広く求めることが大切であると感じております。今年はその意見を集約すべき対策を立てながら、来年度事業に大きな成果がでるようにしていきたいと思ひます。

協議会の存在や立場を住民の方々々に理解していただくことも大きな課題です。PRに努め、より多くの人々に参加していただき、意見を聞きながら進めていくことを大切に、他地域の人々と交流も深めながらこの地域が楽しい街であり、何かが出来るといふ雰囲気になってきたらと考えます。

港まちづくり協議会 会長 高羽章

昨年は、地域のみなさまには大変お世話になりました。おかげさまで本活動にも、まだまだ小さくはありますが、誠実で真摯、また賑やかで楽しいまちづくりの兆しが感じられるようになりました。

2009年は、100年に1度の大変革の年になることが予想され、変化の歪みや暗いニュースばかりが世間を覆っているようです。しかし、そんなときこそ、地道さと確かな行動力を持って地域の未来を変えていこうと努力する人々の存在が、港まちの灯台となります。

変化の時代には、新しい変化を受け入れていく寛容性、時代を切り拓いていく開拓精神が求められます。おおよそ100年前の開港以来、さまざまな志をもった多様な人々を懐深くに受け入れてきた築港。日本一の物流拠点を支えてきた港人の真価が今こそ問われているのではないのでしょうか。

私どもは、地域の皆様の高い志とご活躍をサポートし、地域と共に歩む港まちづくり協議会でありたいと決意を新たにしています。

港まちづくり協議会 事務局 古橋敬一

- 港まちづくり協議会では、ボートピア名古屋設置に伴い競艇を施行する自治体(蒲郡市など)から名古屋市に交付される「環境整備協力費」を用いたまちづくり事業を、住民と行政との協働により検討・実施しています。協議会の委員は、西築地学区連絡協議会・築地口商店街振興組合・ポートオブナゴヤ商店街振興組合からの推薦を頂いた方々と名古屋市の職員で構成されています。
- 港まちづくり協議会の会議は誰でも傍聴できます。傍聴のルール、会議の開催日や会場など詳しくは下記の協議会事務局までお問い合わせください。

＜港まちづくり協議会に関するお問い合わせ先＞
港まちづくり協議会事務局
〒455-0037 港区名港1-14-23 コーラルまるさんビル2F
電話：052-654-8911 FAX：052-654-8912 Eメール：minato-machi@view.ocn.ne.jp

★事務局に会議資料を設置し、
どなたでも閲覧できるようにしています。

URL <http://www.minato55.jp/>

『みなとイルミネーション2008』を開催しました。

2008年12月12日(金)～2009年1月11日(日)

出会いと交流の生まれた住民参加型事業

街路樹イルミネーションと手づくり行灯イベントからなるイルミネーション事業を開催しました。この事業は、4回にわたる住民参加型のワークショップ(部会)で企画検討した結果をもとに実施された事業です。

1ヶ月間点灯された街路樹イルミネーションは、冬の夜の空気に冴え冴えとしたブルーがよく映え、帆のモニュメントのもと夜の海を思わせる美しさを生み出していました。

まちの縁側事業として行った行灯教室では、本当にたくさんの方にご参加いただき、予定を上回る330個の行灯ができあがりました。小さな子どもからご年配の方まで幅広い年齢層の方が参加され、行灯づくりに手を動かしながら自然と会話が生まれている風景は、まさに「まちの縁側」のようでした。また、地域の各種団体の集まりなどでの行灯づくりでは、この地域の様々な活動に触れさせていただき、ありがたい機会となりました。ご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

330個の手づくり行灯が灯る冬の夜のひととき

朝から澄んだ青空が広がり、風も少ない絶好のイベント日和となった12月20日。港橋広場公園で『みんなの行灯イベント』を開催しました。

イベントは行灯づくり教室から始まりました。この日も教室は人気で、用意した行灯すべてが完成。そして、来場者へサービスするココアは、ワークショップ参加者にお手伝いいただきおいしく仕上がり、寒いなか訪れてくださった方々へたくさんお配りすることができました。

ステージが始まる前からお客さんが続々と集まり、自分の作った行灯を探して写真を撮ったり、いろいろなアイデアで作られた行灯を見て回ったりと、会場は楽しい雰囲気に包まれました。

点灯のカウントダウンのあと、330個の行灯に一齐に明かりが灯りました。会場からは静かな歓声が聞こえ、みんな明かりの美しさに見入っていました。そして、港ゴスペルクワイヤーの皆さんによる素敵なゴスペルの調べは、冬の夜を盛り上げ、後半は参加者も一緒に歌って夜の楽しいひとときを過ごしました。

今回のイルミネーション事業では、企画検討からイベントの実施まで、本当にたくさんの方々にご協力をいただきました。この港で暮らす人と人のつながり、そして皆さまの地域への想いを強く感じるイベントとなりました。本当にありがとうございました。



街路樹イルミネーション

■2008年12月12日(金)
～2009年1月11日(日)

■点灯場所:港橋上の街路樹



行灯づくり教室(まちの縁側事業)

■第1回:12月7日、第2回:12月14日
■築地口商店街「マルサン本店」2階



みんなの行灯イベント

■2008年12月20日15:00～17:30
■港橋広場公園



行灯づくりにご協力いただいた団体(50音順)

港楽学童保育所、slow style cafe cha-hoo、高六子供会、小さな館ととととあんど、西築地小学校トワイライトスクール、NPO法人まちかどサポートセンター、NPO法人みなと子育ているかねっと、港デイサービス

港まちづくり協議会「提案公募によるまちづくり事業」委託事業
『不登校・ひきこもりへの支援』事業を実施しています。



家族相談会、当事者の自助グループ活動のご案内
～「一人で悩まないで！」地域で支え合いの場の実現～

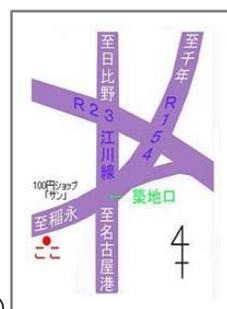
お知らせ

専門家による不登校やひきこもりの子どもを抱える家族への相談会を実施し、孤立しがちな家族への支援を行っています。また、ひきこもりの場合、当事者への直接支援が難しい場合も多いため、家族から本人の状況・状態を把握し、自助グループ活動の紹介や各機関（ひきこもり関連施設、発達障害者支援センター、精神障害者施設など）と連携し本人にあった機関・居場所の提供をし、自立へ促すことを目指しています。

自助グループ「このゆびとまれ」では、当事者の交流の場を提供し、他者と関わりあうことによって社会の風を感じ、少しずつ社会参加を目指していく支援をしています。

事業概要 ◇不登校・ひきこもりの子どもを抱える家族向け相談会の実施
◇当事者の自助グループ活動「このゆびとまれ」の実施

- 日程 : ○相談会:1月24日、2月21日、3月14日 各日13:00～15:00
○この指とまれ:毎週木曜日 16:00～18:00
- 場所 : NPO法人かもめくらぶ(地下鉄築地口駅徒歩1分、小島書店隣り)
- 参加費 : 無料
- 運営 : 特定非営利活動法人まちかどサポートセンター
- 相談会相談員 : 山田武司(岐阜経済大学准教授、精神保健福祉士、まちかどサポートセンター副理事長)
小木曾隆臣(精神保健福祉士、まちかどサポートセンター理事)



会場:かもめくらぶ

***参加費は無料です。どうぞお気軽にお越しください。**

精神保健福祉講演会『寄り添い支えるための支援』を開催しました。

- 日程 : 2008年12月21日(日)13:30～15:30
- 場所 : 名古屋市港区役所講堂
- 講師 : 山田武司(岐阜経済大学准教授、精神保健福祉士、まちかどサポートセンター副理事長)
- 運営 : 特定非営利活動法人まちかどサポートセンター



不登校・引きこもりの問題は、今でこそようやく注目されるようになりましたが、それは私たちの生活の本当にすぐ近くにあるにも関わらず、海よりも深く底知れない広がりをもった深刻な問題とされています。

人はひとりでは、生きていけない。「寄り添い支え合って生きていく」ことは、誰にとっても大切なことだと思います。講師の山田氏はそんなことをわかりやすくお話してくれました。また講演の前には、まちかどサポートセンターの運営する作業所などのメンバーや支援者、シンガーソングライターによるミニライブも行われ、あたたかなひとときとなりました。

- 当事業についてのお問い合わせ先
特定非営利活動法人まちかどサポートセンター
TEL/FAX:052-661-0390 E-mail:suzume@r6.dion.ne.jp
ホームページ: <http://www.kamosuzu.npo-jp.net/>

“まちの縁側” 事業

第7回 縁側トーク「まちの縁側サミット」

～港らしい“まちの縁側”ってなんだろう？～

2009年2月15日(日) 13:00～16:30【開場12:45】

港湾会館3階 第10会議室&ロビー

参加費
無料

★第1部 縁側トーク&スライド講談“幻燈会”

『まちの縁側のすゝめ まちづくりは、ほんまおもろいんやでえ!』

ゲスト: 延藤安弘さん(NPO法人まちの縁側育くみ隊理事)

「まちの縁側」で繰り広げられる愉快的な物語を通して、まちづくりの醍醐味がじんわりと伝わってくる。まちの語り部、延藤氏のまちづくり講談に耳を傾けながら、あなたのココロにはどんなイメージが膨らんでいくのでしょうか。自分たちで始めるみんなの居場所づくりとして、港らしい“まちの縁側”を一緒に考えてみましょう。



ゲストプロフィール

京都のコーポラティブ住宅ユークート、熊本のMポート、神戸の真野地区まちづくり、世田谷まちづくり等、全国各地の住民主体の住まい・まちづくりに関わる。99年より千葉まちづくりサポートセンター代表。「幻燈会」では、「現代の語り部」「まちづくり講談師」と呼ばれ、縁側の魅力を伝える仕掛けとして人気を呼んでいる。

【NPO法人まちの縁側育くみ隊】

福祉と生涯学習・文化と芸術・環境の保全・子育てなど、さまざまな活動が互いに出会い、混ざり合い、対話を生み出す場としての「まちの縁側」を育くみ、東区に「まちの縁側MOMO」をもつ。まち育て支援、公共施設活用支援など、まちとくらしを支援する様々な事業を行っている。



★第2部 おしゃべりサロン

おいしい飲み物とお菓子を味わいながら、ゲストを囲んで本年度のまちの縁側事業を振り返ります。また地域ですでに縁側的な活動をされている方々の活動紹介もしながら、「港らしいまちの縁側」についてみんなで考えます。

★予約申込み不要。直接会場へお越しください。

各地で行われている“まちの縁側”づくり

「まちの縁側」づくりとは、人と人が気持ちよく関わりあえるような居場所をまちのあちこちに作り出そうという活動です。「まちの縁側」は、子育てサークルや高齢者の活動、ものづくり教室やアート活動など、さまざまな世代や立場の人たちが行き交う、みんなの居場所としての大きな可能性を秘め、注目を集めています。

■主催: 港まちづくり協議会

■お問い合わせ先

港まちづくり協議会事務局

TEL:052-654-8911 FAX:052-654-8912

E-mail: minatomachi@view.ocn.ne.jp HP: http://www.minato55.jp/

★会場: 港湾会館



○地下鉄名古屋港駅下車、2番出口。徒歩3分

○港湾会館専用の駐車場はありません。